

市立札幌病院市民公開講座

「秋～冬に流行する感染症 インフルエンザ、ノロウイルスから身を守るために」 開催報告

地域連携センター地域連携課 徳田 英幸

平成26年10月4日(土)に当院講堂において、市民の皆様の健康増進に寄与することを目的として、「秋～冬に流行する感染症 インフルエンザ、ノロウイルスから身を守るために」をテーマに平成26年度第1回市民公開講座を開催しました。

当日は近隣の住民や福祉施設等の職員の方々など、若い世代から年配の方々まで31名の幅広い年齢層の参加があり、あらためて市民の皆様にとって身近なテーマであると感じました。

関院長の開会あいさつに引き続き、地域連携センター齊藤課長より地域医療支援病院としての市立札幌病院の機能と役割、かかりつけ医を持つことの意義についての概要説明が行われ、その後2部制で講演が行われました。

第1講では当院感染症内科の永坂部長より、「敵を知る!インフルエンザとノロウイルスの基礎知識」をテーマに講演が行われ、ノロウイルスの性質を踏まえた予防対策、疫学的なお話などがありました。

また、インフルエンザウイルスの特性や病態、感染経路についてのお話があり、感染予防には手洗いやマスクの着用、十分に休養をとり体力や抵抗力を高めることが重要であることや、ワクチン接種の意義や最近のインフルエンザ各種治療薬についても分かりやすい解説がありました。

第2講では当院感染管理認定看護師である山本看護師より、「家庭でできる感染予防対策」をテーマに講演が行われ、手洗いの正しい方法やマスク、エプロンの着脱方法、ワクチン接種、吐物処理などの感染予防策を実践や動画を交えて説明がありました。

講演後の質疑応答では、消毒剤の効果やマスクの効用に関する質問などが参加者から多数あり、市民の皆様の感染予防に対する意識の高さをうかがい知ることができました。

その後、希望者による手洗いの演習が行われ、蛍光塗料入りクリームをまんべんなく手に塗布後、手洗いをしてもらい、ブラックライトで塗料の洗い残しを確認しました。ほとんどの参加者が親指や指先、爪などに洗い残しがあり、自分の手洗いの不足部分を視覚的に確認することができました。なお、その後の再手洗いでは、効果的に洗い残しを落とすことができていました。

アンケートの個別意見・感想として、「実用的で今後の生活にかなり有効でした。」「具体的で大変参考になりました。エプロン等をすぐにでも手作りしたいと思います。」「動画もあり、分かりやすかったです。」「など好意的なご意見も頂戴しました。

今後も地域の皆様の健康増進に向けた公開講座を開催する予定です。



■インフルエンザ・ノロウイルスについて話す永坂感染症内科部長



■すぐに実践可能な感染予防対策についても紹介されました